



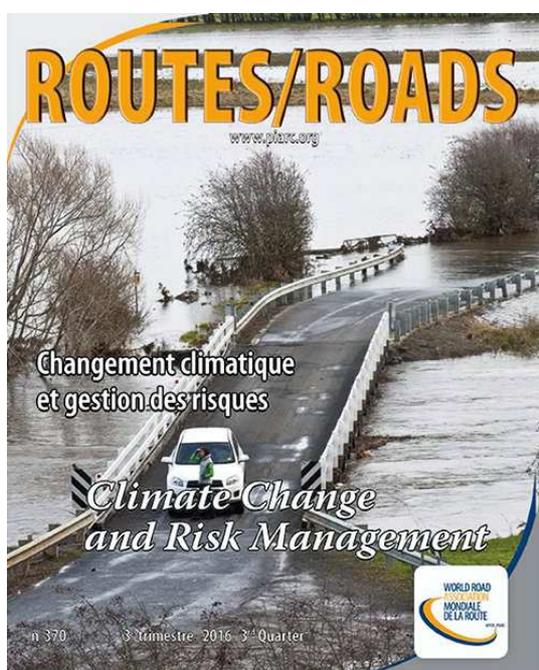
平成 28 年 9 月

## PIARC 日本国内委員会事務局からのお知らせ

PIARC 団体会員および個人会員の皆さま

日頃より PIARC へのご支援・ご配慮をいただき、誠にありがとうございます。会報 ROUTES/ROADS 第 370 号の発行にあわせて、今号の内容紹介をお届けいたします。

### 1. ROUTES/ROADS 最新号 巻頭記事



【今号の特集】 気候変動とリスクマネジメント

【今号の発行にあたって】

Roberto AGUERREBERE 氏 (メキシコ)  
戦略テーマ E “気候変動・環境・災害” コーディネーター

「リスク」というものは道路計画・建設・維持管理において常に存在し、道路および道路交通管理者はその対応に常に従事している。ところが、近年の連続する大規模災害の発生や、多くの人的・経済的損失を伴う痛ましい出来事の頻発により、昨今の道路交通部門においても気候変動および安全保障は重大な懸念事項となっている。こうしたリスクに対処するため道路および道路交通管理者は、本誌に取り上げられているようなケーススタディを参考に、道路交通サービスの継続性を確保すべく入念に備える必要がある。

2009 年の H1N1 型インフルエンザの爆発的流行時には、「公衆衛生上の緊急事態」に伴いケベック州政府の事業が一時的に制限されるに至った。このことは、組織のレジリエンス構築のためのフレームワークの必要性を露呈する結果となった。「事業継続のためのマネジメントプログラム (*Management Program for Business Continuity*)」の構築は、事業継続性の定義・展開・試行・更新および改良といった、リスクに対するビジネスマネジメント的視点からのアプローチに基づいている。これは言い換えると、大規模災害発生時においても組織が一定のサービス水準を満たしつつその事業継続性を確保できる能力の必要性と解釈できる。

オーストラリア南部では、交通規制・交通管理・交通安全対策・交通インフラ安全対策および交通管制を担う政府部門内においてリスクマネジメント促進の機運を高めるための、「組織的リスクマネジメントの新たな始動 (*A new beginning in organizational risk management*)」と呼ばれる取り組みが存在する。「地域リスクマネジメント政策綱領」では、リスクマネジメント枠組みの改良・実施状況に関する、各公共部門の最高責任者による大臣に対する説明責任が規定されている。この枠組みは、リスクマネジメント国際標準 (ISO 31000:2009) に沿った概念および手順を反映している必要がある。誰もがリスク関連情報にアクセス・閲覧できるような環境の整備は、そのすべての人々をリスクマネジメントの当事者として巻き込み、知識および経験の共有を通してその効率性を高めることへと繋がる。

*The Queensland Experience of the Summer of 2013* (本誌掲載記事) - オーストラリア・クイーンズランド州の交通・幹線道路省によるレジリエンス文化構築に向けた動きは、社会・政治・経済・環境の各要素においてより強靱なインフラの構築を目指すとともに、その効果が地域社会の広範囲に及ぶべくその取り組みを見せている。

*Adelaide's North-South Corridor Project Development through Risk Management Decision Making* (本誌記載記事) では、計画・便益評価・事業実施・リスク配分の一連のプロセスがどのように策定・評価され、詳細計画の比較検討を経て最適案選択の意思決定に至るかについて記述がなされている。

*Civil Protection Planning and Actions for Managing Hazards due to Snowfall and Frost* (本誌掲載記事) - 降雪および降霜はその規模によっては、人命および財産を危機にさらす自然災害として位置づけられる。従って、複数の関連省庁および自発的団体が、十分な防災計画および適切に階層化された協力体制のもとこれに備えることは極めて重要となる。

本誌には上記の他にも、ルーマニアにおける大規模洪水被害を踏まえて策定された緊急時橋梁マネジメントシステムや、オーストラリアにおけるステークホルダーや地域社会との結びつきを通じた道路安全強化対策等に関する紹介記事が掲載されている。これらすべての記事は、PIARC の前活動サイクル(2012-2015)の技術委員会 1.5 “リスクマネジメント” によりプロデュースされている。

(筆者和訳)

## 2. 今号の主な記事の紹介

- ✓ ポルトガルにおける追越禁止ゾーンおよび標識設計 ----- 13 項
- ✓ イラン道路ネットワークにおけるブラックスポット(事故多発地点)の特定および優先度評価マニュアル策定に向けた初の国家的取り組み ----- 23 項
- ✓ PIARC イタリア国内委員会の取り組み紹介 ----- 27 項
- ✓ ヤング・プロフェッショナルの紹介(スウェーデン)  
※本項で紹介されている若手技術者 2 名は、2016 年 2 月から 3 月にかけて実習生として PIARC 事務局に勤務。パリで開催されたキックオフ会議の運営にも大きく貢献。 ----- 31 項
- ✓ カナダ・ケベック州交通省における事業継続性確保のためのマネジメントプログラムの確立 ----- 35 項
- ✓ 組織的リスクマネジメントにおける新たな始まり(オーストラリア) ----- 43 項
- ✓ 2013 年夏におけるクィーンズランド州のレジリエンス文化構築に向けた取り組み(オーストラリア) ----- 51 項

- ✓ アテレート南北道路プロジェクトにおけるリスクマネジメント意思決定(オーストラリア) ----- 59 項
- ✓ 降雪・降霜災害対策を目的とした国民保護計画(ギリシャ) ----- 69 項
- ✓ DORNESTI 橋における大規模洪水対策(ルーマニア) ----- 77 項
- ✓ ステークホルダーおよび地域社会との結びつきを通じたサウス・イスタンブールウェイにおける交通安全対策および大型車交通管理の強化(オーストラリア) ----- 85 項

## 3. 国際冬季道路会議 2018 論文募集のご案内

第 15 回 PIARC 国際冬季道路会議が、2018 年 2 月 20 日から 23 日にかけて、ポーランド共和国のグダニスク市において開催されます。今大会のテーマ「*Providing Safe and Sustainable Winter Road Service*」のもと、論文アブストラクトの募集がすでに始まっております。最終的に採択された論文の著者にはポスターセッションにおける発表の機会が与えられるとともに、優秀論文の著者には大会テクニカルセッションにおける口頭発表の機会も与えられます。さらに、とりわけ優秀とみなされた論文には、「PIARC 賞 2018」が授与されます。

2016年12月31日	論文アブストラクト提出期限
2017年4月1日	論文アブストラクト選考結果通知
2017年7月31日	論文提出期限
2017年10月31日	論文最終選考結果通知

詳細情報およびアブストラクトの提出については下記リンク先をご参照ください。

<http://abstracts.gdansk2018.piarc.org/en/>

また、その他大会に関するお問い合わせにつきましては下記までご連絡をお願いします。

[gdansk2018@piarc.org](mailto:gdansk2018@piarc.org) (英語・日本語可)

PIARC の活動に関するご質問等がございましたら、下記までご遠慮なくお問い合わせください。

PIARC 日本国内委員会事務局 (日本道路協会)

安藤: [ando@road.or.jp](mailto:ando@road.or.jp)

PIARC 本部事務局

宮崎: [junichi.miyazaki@piarc.org](mailto:junichi.miyazaki@piarc.org)

引き続き、皆さまのご指導・ご協力のほど、何卒よろしくご願ひ申し上げます。

PIARC 日本国内委員会事務局